

✧ 海外ニュース ✧

イタリア 2021年2月9日 ANAS

■ スマートロード：ANAS はイタリアを未来のモビリティに導きます

SMART ROAD : ANAS PORTA L' ITALIA VERSO LA MOBILITÀ DEL FUTURO

州道 51 号線, 通称『ディアレマーニャ』に, この地域の移動の質を大幅に向上させる技術インフラを配備しました。これは, インフラと利用者間の情報交換および利用者同士の対話を可能にする高度な技術を備えたイタリア初の道路です。州道 51 号線の 80 km にわたる区間でのスマートロードの開発は, 車から全てのものへのセルラー通信接続技術 (C-V2X : Cellular Vehicle-to-Everything) を備えた路側機 (RoadSite Unit) の設置を行うもので, 単一区間の範囲としては欧州最大です。

ドイツ 2021年2月10日 ドイツ交通・デジタルインフラ省

■ 高速充電法が決定：交通省, 1,000 カ所の高速充電ハブ公募の法的基盤を得る

Schnellladegesetz beschlossen : BMVI schafft Rechtsgrundlage für Ausschreibung von 1.000-Schnellladehubs

連邦内閣は, 充電式電気自動車 (BEV) の高速充電設備に関する全国的な整備法案 (高速充電法) を 2 月 10 日決定した。ショイアー連邦交通大臣は「最寄りの高速充電施設に短時間で立ち寄ることができるようにするため, 2023 年までに国内 1,000 カ所に同施設を建設する予定」と語った。

ドイツ 2021年2月11日 Verkehrsrundschau オンライン版

■ コロナでアウトバーンの渋滞が大幅に減少

Corona sorgt für deutlich weniger Stau auf den Autobahnen

ADAC (ドイツ自動車連盟) は, アウトバーンにおける渋滞は 2019 年に 142 万 km 発生したが, 2020 年には 50% 以上低下し 679,000 km となったことを発表した。渋滞の減少割合は, 交通量の減少よりもかなり大きいものになっている。

新型コロナウイルス感染症の影響による, 出張の減少, 在宅勤務の実施, 移動制限で生じた交通量の減少は, 年平均の 1/8 程度に過ぎなかった。「ほとんどの渋滞は交通量の多さと工事によって発生する。交通量が少し減るだけで渋滞は減る」と, ADAC の専門家は説明する。

ドイツ 2021年2月12日 Zeit オンライン版

■ 連邦議会, 建築物における充電スタンドの拡充を法制化

Bundestag beschließt Ausbau von Elektro-Ladepunkten in Gebäuden

今後, 建築物の新築や改築を計画する際, 地下駐車場やマンション前駐車場に電気自動車用充電スタンドを設置することが義務となる。連邦議会は木曜日夜, 通称『建築物電気モビリティインフラ法』を決定した。具体的には「建物内に 10 台分超の駐車スペースまたは建物に隣接する 10 台分超の駐車スペースを有する住宅を建てる者は, 駐車スペースごとに電気モビリティ用の送電インフラを設置する」とされる。10 台分超の駐車スペースを有する非住宅建築物では, 駐車可能台数の 1/5 に充電インフラが必要となる。

スペイン 2021年2月12日 CincoDías オンライン版

■ ACS, 米国・SICE 社を強化し高速道路向けテクノロジーで成長へ

ACS potencia SICE en EE UU para crecer en tecnología de autopistas

ACS は, 車両認識と料金徴収の最新技術をヒューストンのテキサス州道 288 号線に適用し, 米国でこの分野

でのビジネスチャンスを探し始めた。

ACSグループ企業のSICE社では、イノベーションセンターを立ち上げるとともに、マルチレーン・フリーフロー料金徴収の試験的運用を開始している。

フランス 2021年2月14日 LeFigaro

■ 充電スタンド：主要幹線道路上の充電ステーション開発者に1億ユーロの補助金

Bornes électriques : 100 millions d'euros d'aides pour développer les stations sur les grands axes

日曜日に発表された官報の政令によると、この補助金は「公共財産である高速道路および国内道路ネットワーク上に設置されるサービスの領域において、電気自動車用の充電サービス活動に関連する投資を実施する企業に支払うこと」ができる。

現段階では、フランス国内の道路網には440のサービスエリアがあり、うち140カ所が充電スタンドを備えている。「これから2022年末までに、すべてのサービスエリアに20分間で充電が完了する超高速充電スタンドを備えることが目標です」とジャン・パプティスト・ジェバリ交通担当大臣は述べた。

インド 2021年2月14日 The Hindu

■ 深夜から全ての料金所でFASTagが義務化

FASTag compulsory at all toll plazas from midnight

陸上運輸・幹線道路省(MoRTH)は、2月14日に通達を發出し「デジタル方式による料金支払いをさらに促進し、待ち時間と燃料消費量を削減し料金所をシームレスに通過できるようにするため、国道の全ての料金所は2021年2月15日～16日の深夜にかけて『FASTagレーン料金所』となることを宣言する」と述べている。

アメリカ(イギリス) 2021年2月15日 Traffic Technology Today

■ イギリス全土のポットホール修復費用として地方自治体に5億ポンドが割り当てられる

Local authorities get £500 million to fix potholes across England

交通省(DfT)は、2015/16年度から2020/21年度までポットホール補修に、2億9600万ポンドのポットホールアクション基金を含めて多額の費用を拠出している。また2018年には、ロンドンを含む英国の全高速道路当局に、1回限りとして高速道路の保守費用に4億2000万ポンドを上積みした。

アメリカ 2021年2月15日 ZME Science

■ ミシガン大学、CO₂を注入したコンクリートを研究開発して炭素排出量削減を目指す

Scientists create bendable concrete containing CO₂ to lower emissions

ミシガン大学のプロジェクトではCO₂をコンクリートに注入することで、CO₂が反応して鉱物を形成することから、コンクリートの中にCO₂を蓄え、炭素排出量を劇的に削減できる。さらに研究室での実験によると、コンクリートの強度と耐久性を大幅に向上させることが判明している。

アメリカ(イギリス) 2021年2月16日 Traffic Technology Today

■ 英国サリー州がインテリジェント街路灯89,000個を新規導入、年間7,700トンの二酸化炭素を削減

89,000 new intelligent street lights to save 7,700 tonnes of carbon a year in Surrey, UK

センサー対応の照明と新たな中央管理システムを導入する。これによりサリー州はデータにアクセスできるようになり、安全性、エネルギー消費、メンテナンスの観点から州内の照明をより適切に管理できるようになる。また交通管制、大気質、環境モニタリング、洪水の制御など他の多くの分野で効率的な対応が可能になる。

アメリカ 2021年2月 Civil + Structural Engineer

■ ニューヨーク州交通局、初めてモデルベースの契約3Dプロジェクトを実施し、地域の生活に必要な橋梁を修復

NYS DOT Delivers First Model-based Contracting 3D Project in Its History ; Delivered the Project Under Budget and Restored a Critical Bridge to the Community

『OpenBridge Modeler』を用いて、橋桁や複雑なダイアフラムの放物線状テーパーなどを含む、複雑な構造のモデル化に成功した。建設に3Dモデルを用いることで、アスファルトや切土量などの材料計算に関する請負業者と設計エンジニアでの数量の不一致は減少した。

アメリカ 2021年2月23日 Cities Today

■ 都市部のスマートな交通管理によって2025年までに2,770億ドルの費用を低減できる可能性

Smart traffic management could save cities US\$277 billion by 2025

報告書『スマート交通管理：技術、使用事例と市場予測 2021～2025』（ジュニパーリサーチ社）は、この費用低減の95%以上が渋滞の緩和によってもたらされると予測している。北米とヨーロッパでは、スマート交通管理と乗車率向上への投資の増加により、全体の75%超が生み出されると予想されている。

フランス 2021年2月23日 Vinci

■ 高速道路での日常移動を：南部地域における将来的な13件のプロジェクト

MOBILITÉS DU QUOTIDIEN SUR AUTOROUTE : 13 PROJETS À VENIR DANS LA RÉGION SUD

より円滑で持続可能性の高い日常の移動に向けた協定（総額4億6000万ユーロ）が、2021年2月22日にマルセイユで署名された。各地方自治体他、ヴァンシ・オートルートの共同出資によるもので、この投資計画は同地域の道路および高速道路ネットワークにおける13件の主要プロジェクトの達成に対する投資を行うものである。

この計画は、特に高速道路のインターチェンジおよびハーフインターチェンジを建設するものであり、目的は地域間、特にソフィア・アンティポリス（アルプ・マリタイム県）のテクノポリス、およびリュック（ヴァール県）、さらにはオランジュの間の接続を容易にすることである。

アメリカ 2021年2月24日 Transport Topics

■ アメリカ交通研究所（ATRI）の報告：2020年は上位の渋滞多発区間で渋滞は減少したが、引き続きインフラのニーズは大きい

Top Bottlenecks Less Congested Last Year, but Infrastructure Needs Persist, ATRI Finds

ATRIの2021年版のトラックの渋滞多発区間一覧によると、2020年はパンデミック期間中に乗用車の運転手が在宅勤務したため、渋滞多発区間上位100カ所におけるトラックの最大走行速度は、2019年と比較して34%向上したという。

アメリカ 2021年2月24日 Transport Topics

■ 交通関係の議員トップが、今後の高速道路政策は気候変動を最重要課題に据えたと語る

Climate Change to Dominate Highway Policy, Top Transportation Lawmakers Say

下院交通インフラ委員会のピーター・デファジオ氏（民主党）と上院環境・公共事業委員会のトム・カーパー議長（民主党）は、今後数週間で新たな高速道路法案の検討に着手する意向だと述べた。

2人は、全ての陸上交通政策に気候変動対策中心の枠組みを組み込むことが、民主党の未発表法案の検討において指針となるであろうと断言した。

スペイン 2021年2月25日 ACS

■ ACSグループ、アベルティスの2億8000万ユーロ減益の影響を受け、2020年の利益は5億7400万ユーロに
El Grupo ACS gana 574 millones de euros en 2020, afectado por la reducción de 280 millones de Abertis

コロナ禍の影響等で、売上高は10.5%減少し349億3700万ユーロであった。

EBITDAは14.2%減少の23億9700万ユーロとなったが、これはCOVID-19の影響で平均交通量が21%減少した。アベルティス社の持分を含んでいない。経常外の影響を除いた調整後の純利益は6億200万ユーロに上ったが、2019年より3億6000万ユーロ減少している。そのうち2億8000万ユーロはアベルティスに起因する。なお、アベルティスを考慮しない場合、11.2%の減少である。ポートフォリオは692億2600万ユーロで、主に米ドルの下落により11%減少した。為替の影響を除くと減少率は3.7%となる。

アメリカ 2021年2月25日 KSNV-TV

■ 連邦交通局の助成金により連邦道路95号線に新たな交通量削減技術を導入

The U.S. 95 to get new traffic-reducing technology thanks to USDOT grant

道路や高速道路を拡大させることなく交通を改善できるか。地域交通委員会(RTC)とネバダ州交通局はこの課題に取り組み、州の道路を運転しやすくするために600万ドルの助成金を受け取った。

RTCによると資金は、逆走や乗車人数の検知器などの新技術の導入に充てられ、事故、速度低下、車線閉鎖を知らせる標識も設置されるという。

アメリカ(中国) 2021年2月26日 ZME Science

■ AIを用いた交通管理が都市の道路渋滞を緩和させる可能性

AI traffic management could finally declog urban roads

中国のハイテク大手アリババは、全国23都市で『City Brain』と呼ばれる交通管理AIを実装している。人口700万を抱える杭州は、同システムを実装したことから、中国で渋滞が激しい都市ランキングの5位から57位まで順位を改善した。通勤に伴う移動時間は大幅に短縮され、消防車や救急車などの初動対応者は、緊急事態への対応にかかる時間を半減させた。

アメリカ 2021年2月28日 The Daily News

■ 脆弱な橋の耐震性強化が必要

Vulnerable bridges are in need of earthquake upgrades

ワシントン州交通局のラポー広報担当官は、「2003～04年に床版を交換して2車線の橋を強化し、当時の地震基準をクリアした。しかし、新たな地震情報を反映して基準が更新されているため橋を再評価する必要がある」と述べた。

地震学者は、カスケーディア沈み込み帯の地震は、マグニチュード6.8のニスカリー地震よりもはるかに強力で、特に長さのある構造物は見直しが必要だろうと述べている。

アメリカ 2021年3月1日 Roads & Bridges online

■ ノースカロライナ州交通局(NCDOT)、初めてドローンを用いて橋梁を点検

North Carolina DOT conducts first bridge inspection using drone

連邦航空局が2020年にNCDOTに対して制限を免除したことにより、橋梁検査の際に視覚線を越えて(BVLOS)ドローンを操作できるようになった。NCDOTによれば、この点検で使用されるドローン『Skydio 2』には、衝突のリスクなしに橋の構造物の1フィート内で動作可能な検出、および回避技術が装備されているという。

アメリカ 2021年3月3日 Bloomberg CityLab

■ ブティージェッジ運輸長官、インフラ政策における最重要課題は補修と強調

Pete Buttigieg Stresses a 'Fix It First' Infrastructure Policy

長官は以下のように述べた。インフラの近代化には、管理の改善はもちろん追加のリソースも必要になるようだ。時代遅れの構造物を撤去し、その代替物を設置しない場合もありうる。「実際に都市部のアスファルトの面積を減らすべき地域があります。地域共同体が長期的に有益であると判断した場合は、そういった規模の適正化も支援する必要があります」

アメリカ 2021年3月4日 Roads & Bridges online

■ 承認から30年、環境保護指定区域を通る有料道路が渋滞を緩和する

Thirty years in the making, a tollway through an environmentally sensitive area relieves congestion

中央テキサス地域移動局のプロジェクトであるこの高速道路は、区間の大部分がエドワーズ帯水層涵養域にあるため、とりわけ話題になった。帯水層は周辺地域の数百万の人々の飲料水源だ。さらに、帯水層を構成する地理的構成は、複数の希少種や絶滅危惧種の生息地でもある。そのため、プロジェクトの開始から完了まで、環境を最優先事項として建設された。

スペイン 2021年3月4日 運輸・移動・都市政策省サイト

■ 運輸・移動・都市政策省、破綻した高速道路の運営保証金の差し押さえ手続きへ

Mitma tramita la incautación de las garantías de explotación de las autopistas quebradas

運輸・移動・都市政策省（MITMA）は、破産手続中の国営有料高速道路のコンセッション会社の運営保証金の差し押さえ請求手続きを行っている。総額は約1億2000万ユーロとなる。

閣議では、高速道路R2号線、R3号線、R5号線、R4号線、M-12号線、AP-36号線、AP-41号線、AP-7号線アリカンテ環状道路とAP-7号線カルタヘナ～ベラ間の建設、保全、運営に関する管理コンセッション契約の解除が決定された。各決定は、とりわけ運営保証金の差し押さえを考慮している。